フロンティア漁場整備事業の概要

1. 趣　旨

我が国の沖合域において、国が漁場整備を実施することにより、当該海域の水産資源の生産力を向上させ、水産物の安定供給の確保を図る。

2. 要　件

① 排他的経済水域において、
② 海洋生物資源の保存及び管理に関する法律に基づく漁獲可能量（TAC）又は漁獲努力可能量（TAE）により資源管理がなされている魚種*であって、
③ 保護措置が講じられているものを対象とし、事業による著しい効果があると認められるもの。

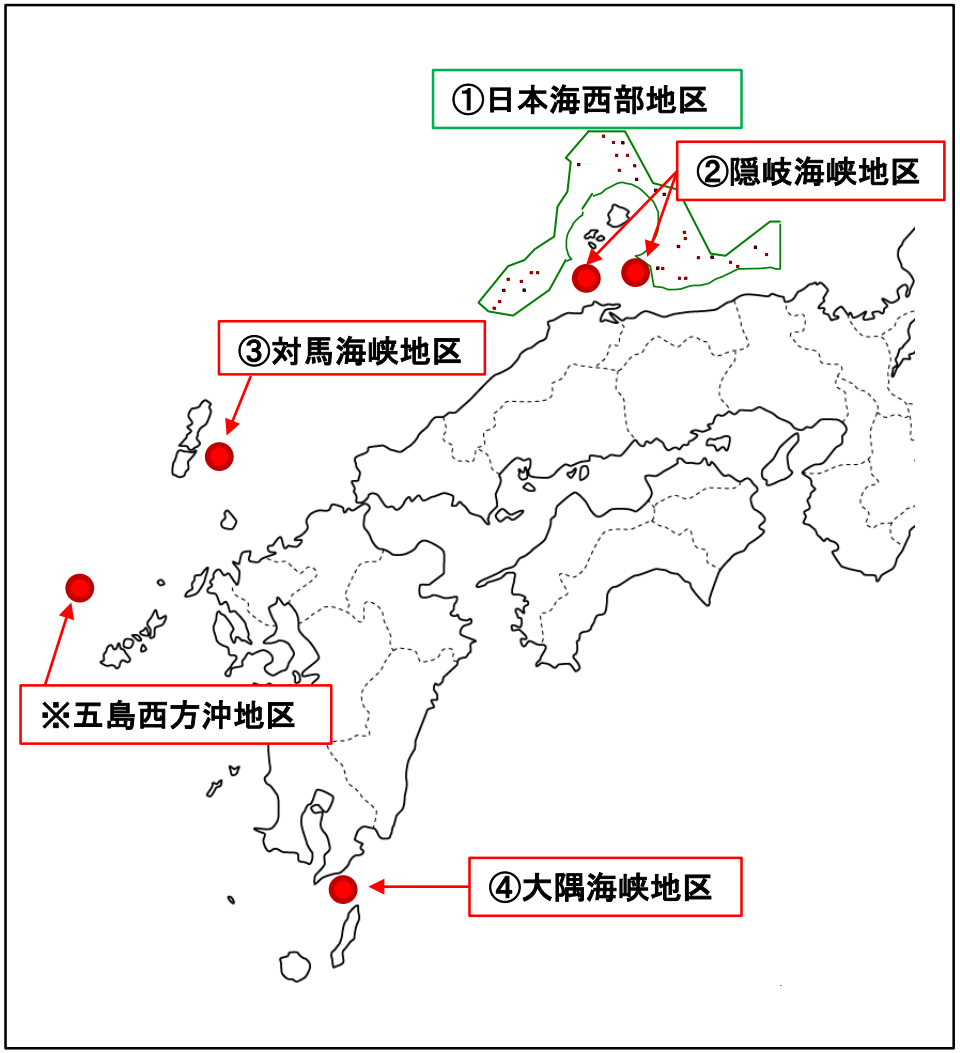
＊TAC対象魚種：計8魚種（くろまぐろ、さんま、すけとうだら、まあじ、まいわし、まさば及びごまさば、するめいか、ずわいがに）
＊TAE対象魚種：計9魚種（あかがれい、いかなご、さめがれい、さわら、とらふぐ、まがれい、まこがれい、やなぎむしがれい、やりいか）

3. 事業実施主体　　国

4. 負 担 率　国3／4、都道府県1／4

5. 事業実施箇所

①日本海西部地区（あかがれい・ずわいがに）平成19年～
②隠 岐 海 峡 地区（まあじ・まさば・まいわし）平成25年～
③対 馬 海 峡 地区（まあじ・まさば・まいわし）平成29年新規
④大 隅 海 峡 地区（まあじ・まさば・まいわし）平成29年新規
※五島西方沖地区（まいわし・まさば・まあじ）平成27年10月完成



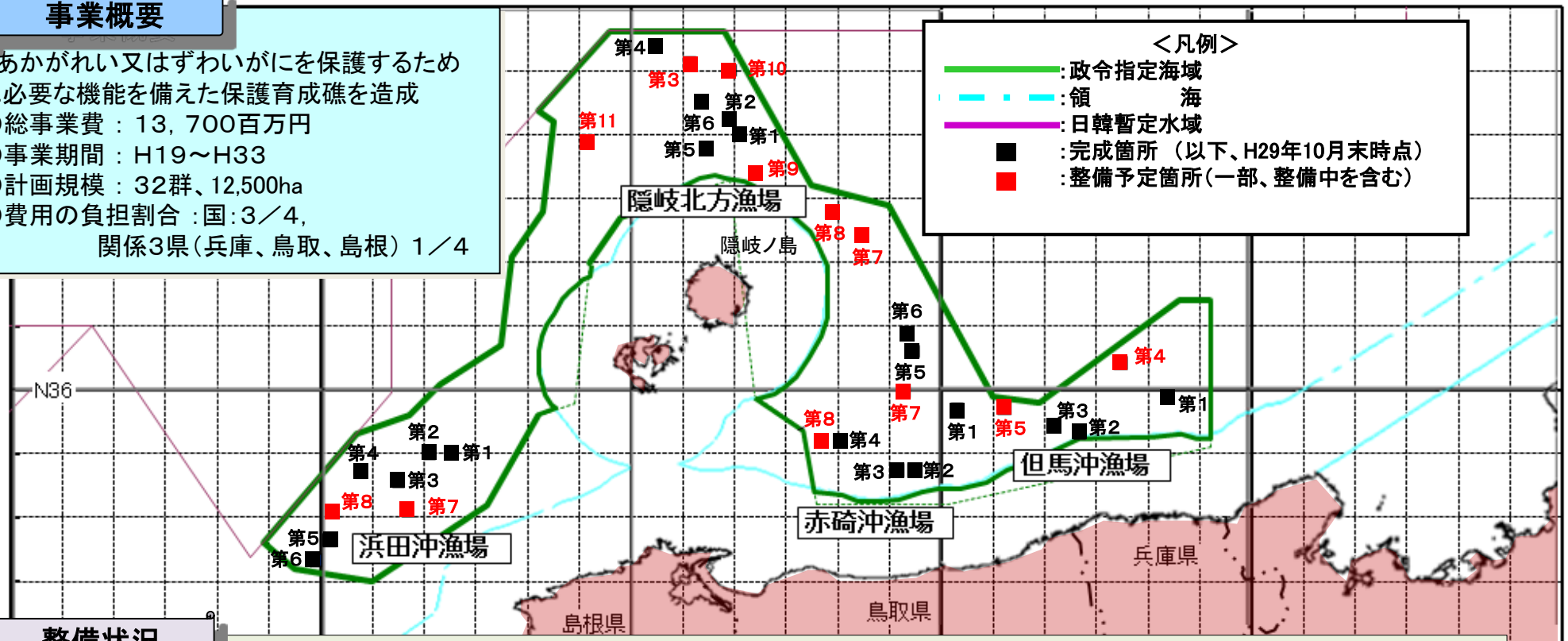
フロンティア漁場整備事業（保護育成礁：日本海西部地区）

～日本海西部海域における、あかがれい・ずわいがに資源の保護・増大～

事業概要

あかがれい又はずわいがにを保護するために必要な機能を備えた保護育成礁を造成

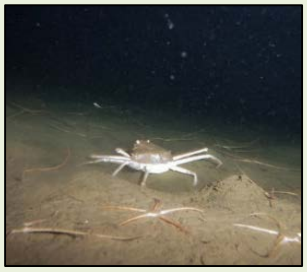
○総事業費 ： 13，700百万円
○事業期間 ： H19～H33
○計画規模 ： 32群、12,500ha
○費用の負担割合 ：国：3／4，
関係3県（兵庫、鳥取、島根）1／4



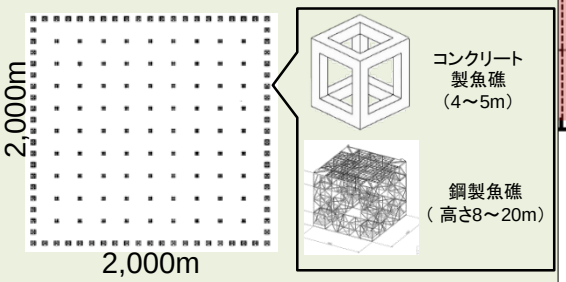
整備状況

コンクリート製魚礁

鋼製魚礁


保護育成礁内に生息するあかがれい（左）とずわいがに（右）

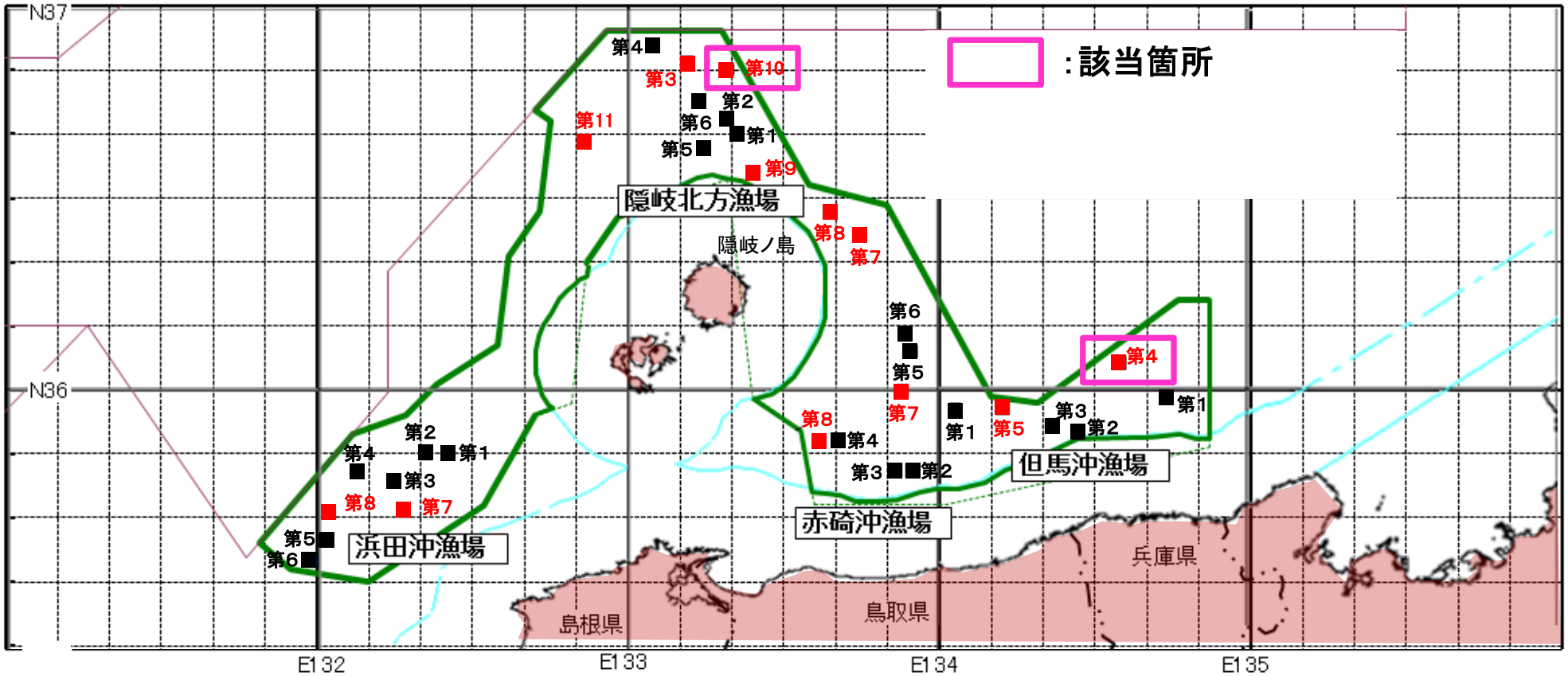
【1群の保護育成礁のイメージ】



2,000m×2,000mの区画の中に複数の魚礁ブロックを設置し1群を構成。

日本海西部地区に係る特定漁港漁場整備事業計画の軽微な変更

【特定漁港漁場整備事業計画の変更内容】
保護育成礁の設置位置の移動

3の(2)変更後の工事に関する事項
主要施設の種類、規模及び配置等

整備対象漁場名	計画施設等	計画工事種目	単位	計画数量	変更後 備考			変更前 備考		
但馬沖漁場	増殖場	第4保護育成礁	ha	400	北緯	36° 02′ 57″		北緯	36° 04′ 13″	
					東経	134° 34′ 37″		東経	134° 35′ 00″	
隠岐北方漁場	増殖場	第10保護育成礁	ha	400	北緯	36° 49′ 24″		北緯	36° 50′ 00″	
					東経	133° 18′ 22″		東経	133° 19′ 00″